

■社会資本総合整備計画(河川・ダム事業)事後評価

計画の名称				H26末 事後評価						
計画の成果目標 (定量的指標)	定量的指標の定義及び算定式	進捗状況 ※1		効果の発現状況	目標の実現状況					今後の方針
		うち着手済事業数 全体事業数	進捗度 ※2		単位	計画 実績	H22当初	目標値 実績値	達成度 ※3	
北海道における総合的な治水対策の推進				H26末 事後評価						
目標① 河川整備率の向上	河川改修が必要な区間に対する一定の降雨による浸水被害を防止できる区間の割合(%) = 一定の降雨による浸水被害を防止できる区間の延長 / 河川改修が必要な区間の延長	$\frac{79}{79}$	100%	別紙1	%	計画 実績	42%	44%	61%	今後も引き続き河川整備の進捗を図る。
目標② 家屋の保全	改修の目標とする規模の降雨により浸水するおそれのある家屋数	$\frac{102}{102}$	100%		百戸	計画 実績	361	225	57%	市街地での事業において、一部遅れが生じたことから、目標を下回る結果となった。今後は事業費を確保し、工事を進捗することで、浸水するおそれのある家屋の軽減を図る。
目標③ 農地の保全	改修の目標とする規模の降雨により浸水するおそれのある農地面積	$\frac{92}{92}$	100%		百ha	計画 実績	157	90	70%	今後も、引き続き工事を進捗することで、浸水するおそれのある農地の軽減を図る。
目標④ 長寿命化計画の策定	大規模な河川管理施設※の長寿命化計画策定率(%) = 長寿命化計画を策定済みの大規模な河川管理施設数 / 大規模な河川管理施設数	$\frac{2}{2}$	100%	別紙2	%	計画 実績	0	100	93%	長寿命化計画が未策定の施設においては、すみやかに策定し、維持管理費の軽減を図る。
目標⑤ 長寿命化計画に基づく延命化	大規模な河川管理施設※のうち、長寿命化計画に基づく延命化措置等に着手している施設の割合(%) = 長寿命化計画に基づく延命化措置(改築を含む)に着手している大規模な河川管理施設数 / 大規模な河川管理施設数	$\frac{27}{28}$	96%		%	計画 実績	0	67	96%	今後も長寿命化計画に基づき、河川管理施設の延命化等を進める。

■社会資本総合整備計画(河川・ダム事業)事後評価

計画の名称				H26末 事後評価						
計画の成果目標 (定量的指標)	定量的指標の定義及び算定式	進捗状況 ※1		効果の発現状況	目標の実現状況					今後の方針
		うち着手済事業数 全体事業数	進捗度 ※2		単位	計画 実績	H22当初	目標値 実績値	達成度 ※3	
目標⑥ 樋門床止めの応急対策	治水機能が周辺に対して劣っている樋門及び床止めのうち、応急的な対策を講じている施設の割合(%) = 応急的な対策を講じた治水機能が周辺に対して劣っている樋門及び床止めの数 / 治水機能が周辺に対して劣っている樋門及び床止めの数	83 83	100%	別紙3	%	計画 実績	38	56 48	58%	調査設計に時間を要したことなどから、目標を下回る結果となった。今後も事業費を確保し、工事の進捗を図る。
目標⑦ 堤防の強化	計画高水位以下の水位において、所要の安全性が確保されていない完成断面堤防の強化対策を実施する延長	11 11	100%		km	計画 実績	0	18 11	61%	今後も、引き続き堤防の強化を進める。
目標⑧ 河川情報の提供	急激な水位上昇などによる水難事故を防止するため、河川利用者や地域住民などへ容易に危険性を認識できるような情報提供を実施する河川数	6 6	100%		河川	計画 実績	0	6 6	100%	(河川情報板の設置については、全て設置)
目標⑨ ダム管理施設の改良	管理ダムの効用の継続的な発現のため、老朽化が著しいダム管理施設の改良を実施するダム数	5 5	100%		基	計画 実績	0	5 5	100%	今後も、引き続きダム管理施設の改良を進める。

北海道における総合的な治水対策の推進①

目標①：河川整備率の向上

河川改修が必要な区間に対して、一定の降雨による浸水被害を防止できる河川工事を実施

改修が必要な区間に対する整備延長の割合
 計画：42 → 44%
 実績：42 → 43%

5年間で約100kmの河川延長を整備



望月寒川（札幌市）

※望月寒川など79河川で事業を実施

目標②：家屋の保全

改修の目標とする規模の降雨により浸水するおそれのある家屋数を軽減させる

浸水するおそれのある家屋数
 計画：361 → 225百戸
 実績：361 → 283百戸

5年間で約7,800戸の浸水被害を軽減



真駒内川（札幌市）



望月寒川（札幌市）

※真駒内川など102河川で事業を実施

目標③：農地の保全

改修の目標とする規模の降雨により浸水するおそれのある農地を軽減させる

浸水するおそれのある農地面積
 計画：157 → 90百ha
 実績：157 → 110百ha

5年間で約4,700haの農地浸水被害を軽減



富良野川（中富良野町）



厚沢部川（厚沢部町）

※富良野川など92河川で事業を実施

北海道における総合的な治水対策の推進②

目標④：長寿命化計画の策定

大規模な河川管理施設の長寿命化計画を策定

長寿命化計画を策定する施設数の割合

計画：0 → 100%

実績：0 → 93%



※大規模な河川管理施設42基のうち、旧軽川排水機場など39基の長寿命化計画を策定

目標⑤：長寿命化計画に基づく延命化

大規模な河川管理施設のうち、長寿命化計画に基づいて延命化措置等を実施

長寿命化計画に基づき延命化措置等を実施する施設数の割合

計画：0 → 67%

実績：0 → 64%



旧軽川排水機場

※大規模な河川管理施設42基のうち、旧軽川排水機場など27基の延命化措置（改築含む）に着手

大規模な河川管理施設（42基） ※H27.3月時点

長寿命化計画策定のための費用、当該計画に基づく延命化に必要な措置のための費用及び改築に必要な費用の合計事業費が概ね4億円以上となる堰、水門、樋門及び排水機場。

- 堰：苫小牧堰、帯広川分流堰など13基
- 水門：声問川大沼水門、青苗川防潮水門など12基
- 樋門：前田排水樋門、アカシヤ排水樋門など3基
- 排水機場：旧軽川排水機場、黒川排水機場など14基

北海道における総合的な治水対策の推進③

目標⑥：樋門床止めの応急対策



治水機能が周辺に対して劣っている樋門及び床止めのうち、応急的な対策を実施

対策を講じた施設数の割合
 計画：38 → 56%
 実績：38 → 48%

※剣淵川などで99基の樋門、床止めの応急対策を実施

目標⑦：堤防の強化



計画高水位以下の水位において、所要の安全性が確保されていない完成断面堤防の強化対策を実施

堤防強化延長
 計画：0 → 18km
 実績：0 → 11km

堤防法尻にドレーン工（女満別川）

※野津幌川、女満別川など11河川で、堤防の強化を実施

目標⑧：河川情報の提供



急激な水位上昇などによる水難事故を防止するため、河川利用者や地域住民などへ容易に危険性を認識できるような情報提供を実施

情報提供実施河川
 計画：0 → 6河川
 実績：0 → 6河川

※発寒川、望月寒川、ペンケ歌志内川、愛宕新川、新川、豊栄川に河川情報板を設置

目標⑨：ダム管理施設の改良



管理ダムの効用の継続的な発現のため、老朽化が著しいダム管理施設の改良を実施



改良実施ダム数
 計画：0 → 5基
 実績：0 → 5基

様似ダム（ゲート巻上機の改良）

※愛別ダム、様似ダム、朝里ダム、栗山ダム、上ノ国ダムの改良事業に着手